

サロンの様子



第1回サロン
(川崎区・幸区で活動されている皆さん)



第2回サロン
(中原区・高津区・宮前区で活動されている皆さん)



第3回サロン
(多摩区・麻生区で活動されている皆さん)

平成25年度 緑の交流サロン報告書

(公財)川崎市公園緑地協会では、川崎市内で活動されている方々の、団体間の交流や情報の交換を行い、課題の解決や活動団体間の連携に繋げていくことを目的として平成23年から「緑の交流サロン」を開催してきました。過去2年間のサロンでは、活動団体間での交流を目的とした意見交換会を行い、日頃の活動や困っていること、楽しみにしていることなどを話していただきました。

3年目を向かえる平成25年のサロンでは、これまでの意見交換でも度々話されてきた「広報」について、日頃の活動に活かせるようにするため、チラシづくりに関する内容のサロンを開催し、実際にチラシを作成して和やかな雰囲気の中で終わることができました。

サロンスケジュール

- ① 開会の挨拶、スタッフ紹介
- ② 参加者紹介
- ③ 講師のお話
- ④ チラシづくり
- ⑤ 投票タイム 休憩
- ⑥ まとめ
- ⑦ 記念撮影、閉会の挨拶

講師を務めていただいたお二人



講師のお二人は、横浜を中心にNPO、企業、大学、行政が関わる場の創出や、市民が支える地域社会づくりの応援などを目的に様々な活動を行っている「NPO法人アクションポート横浜」に所属し、ご自身も市民活動を行っているお二人に講師を務めていただき、「広報について」様々なお話やワークショップを開催していただきました。

	対象区	参加者数	日時	場所
第1回	川崎区・幸区	13団体(23名)	平成25年9月6日(金)	川崎市産業振興会館
第2回	中原区・高津区・宮前区	18団体(20名)	平成25年11月8日(金)	高津区役所
第3回	多摩区・麻生区	16団体(18名)	平成25年11月22日(金)	多摩区役所

参加者の方に作成いただいたチラシ



本年度も多くの方にご参加いただき、チラシづくりを通して交流ができました。

平成26年度も開催する予定です。みなさん是非ご参加ください!

主催：(公財)川崎市公園緑地協会

日頃の活動の中で、チラシやポスターづくりなど、広報活動を行うときには、次の3つのポイントを参考にしてみてください！

ポイント① 市民活動についての広報の目的を知ろう

広報は知らせて終わりではなく、大事なことは何かを引き出すことが必要！
市民活動についての広報はコミュニケーションであり、そのきっかけとなるものです。

- ・ 活動内容をまわりの人に理解してもらうこと
- ・ 活動のための資源（人、もの、金）を集めること
- ・ 活動を支えてくれる人に情報を提供すること（とても大事）



ポイント② 実は大事な、広報前の確認作業

広報手段を考える前には、ぜひ確認してから作成してみましょう！



- ・ 団体のミッション
(何のために自分たちは活動しているか、活動の目的は何か、を団体内で確認し合ってみよう)
- ・ この広報の目的 (広報する目的は何か)
- ・ 団体の置かれている位置 (誰に信頼されているのか、どういう人への発信が必要なのか)
- ・ 社会ニーズの把握 (地域は何を求めているのかを知り、団体の目標との調和を図る)

ポイント③ 誰に・どこで・何を伝えるか？

「誰に・どこで・何を伝えるか」がはっきりしていないと、あやふやなものになってしまいます。



- ・ 誰に：
ターゲットを誰にするか、誰に向けて発信しているのかがはっきりしていると、チラシを手にとってもらいやすいものです。ターゲットとして、小中学生、大学生、若者、親子、主婦、男性、シニア世代等様々な人がいます。
- ・ どこで：
配布場所によってチラシのレイアウトが変わります。ラックに置く場合は、チラシ表紙上部に大見出しや、伝えたい内容をレイアウトする必要があります。掲示板に貼るならポスター形式のほうが良いでしょう。また、広報の媒体が何か（ホームページ、メール、会報、ポスター、チラシ、新聞等）によって作り方が変わります。
- ・ 何を伝えるか：
伝えたいメッセージは何でしょうか。わかりやすく、共感を生むものが良いです。イベント情報、自分たちの団体の思いや意見、主張等様々な内容の要点をおさえて記載することです。

「市民活動と広報」

現在、把握されているNPOの数は約5万団体とされています。さらに市民活動団体はその10倍あると言われて、NPO法人を持っていない、あえて取らない団体も数多くあり、現在ではボランティア活動は一般的になってきています。

一方で情報量や情報伝達ツールもとても増えています。インターネット等を利用して誰もが情報を発信できるようになったため、積極的に情報発信をしないと多くの人に届かないという状況にあります。そういった状況で市民活動とはどういうものか、実態を知らない人はまだとても多いのが現状です。

市民団体にはそれぞれの目的があります。花壇を一年中きれいにしたい、緑地が荒れないようにしたい、など目的は多種多様で、現状に課題があり、その解決（使命：ミッション）に向けて活動していると言えます。ミッションを実現するためにはその活動を、特にマイナスイメージを持っている人に理解してもらい、賛同者、参加者を増やし、資源（人、もの、金）を集めることが大切です。

「活動を理解してもらい、賛同者・参加者を増やす、お金を集める」これらがあって活動は維持・継続・発信していけるものです。

市民活動は対価を得ることが目的ではありません。しかし活動の継続にはボランティアや資金や情報などが必要です。そのためにも、活動を支えてくれる様々な立場の人に、効果的な方法で情報を発信することが重要であり、それが市民活動における広報であると言えます。



市民活動についての広報のツボ

チラシなどの広報手段を、ラブレターとして考えてみよう♡

- ・ 想いが届くようにできるだけわかりやすく、丁寧に伝えよう！
- ・ この内容で自分たちのことがわかってもらえるか、好きになってくれるか考えてみよう！
- ・ その後も引き続き仲良くなれるかな？



市民活動やボランティア活動は伝えて終わりではありません。「花いっぱいしよう」と呼びかけ伝えた後、「興味を持ってくれる人がいる」大事なところはそこからです。伝えるターゲットをしぼったり、どこに置くかでレイアウトや色使いなどの工夫があります。電車に乗っている時、街を歩いている時などチラシやポスターに目を向けて見るのも良い参考になります。

